



文責 本宮小学校長 佐久間仁



つてみよう ボランティア



三年生が総合学習で福祉について学んだことをきっかけに、自分たちにできるボランティアを考えて実践しています。あいさつ、読み聞かせ、なわとび、ダンス、あそび、運動、整理、見守り、草むしり石拾い、そうじなど、グループごとに内容を話し合い、十六日から計画的に取り組んでいます。あいさつグループは、朝と帰り、ポスターを持って三年生教室前の廊下に立ち、友達や先生に対して元気にあいさつをしています。「おはようございます」「おはよう」「さようなら」「さようなら」さわやかなあいさつが廊下に響いています。おかげで他の学年の子どもたちも元気なあいさつを返せるようになりました。

三年生の行動が、全校生一人一人の心を動かし、明るいあいさつの輪が学校全体に広がりつつあることを大変嬉しく思います。

勇気の出るお話(詩の紹介)

「小さい勇気をこそ」

東井義雄

人生の大嵐がやってきたとき
それがへっちゃらで乗りこえられるような
大きい勇気もほしいにはほしいが
わたしは
小さい勇気こそほしい

わたしの大切な仕事をあとまわしにさせ
忘れさせようとする小さい悪魔が
テレビのスリルドラマや漫画にばけて
わたしを誘惑するとき

すぐそれがやつつけられるくらいの
小さい勇気でもいいから
わたしは それがほしい
(中略)

紙くずがおちているのを見つけたときは
気がつかなかったというふりをして
さっさといっちなまえよ

かぜひきの鼻紙かもしれないよ
不潔じゃないか と呼びかける

小さい悪魔を

すぐやつつけてしまえるくらいの
小さい勇気こそ わたしは ほしい

どんな苦難ものり切れる

大きい勇気もほしいにはほしいが
毎日 小出しにして使える

小さい勇気でもいいから

それが わたしは
たくさん ほしい

それに

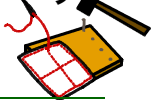
そういう小さい勇気を軽蔑しては
いざというときの
大きい勇気も つかめないのではないだ
ろうか。



あいさつ名人

※三年生には「恥ずかしい」「面倒」などの弱い心にも負けないで、自分が良いと思うことを率先して行う勇気を教えてもらった気がします。今後、周りの人が喜ぶことは何かを考え、進んで実践しようとする姿を期待しています。

学 習ボランティア



十六日、十七日に地域ボランティアの皆様へ三年生の木工の学習をサポートしていただきました。前回(十月)の「釘打ち」に続いて、今回は「のこぎり」を教えてくださいました。のこぎりの刃の特徴や切り方、材料の押さえ方などを丁寧に教えていただいたおかげで、子どもたちは安全に活動することができました。

上手に切れた



上手に切れた

※今回教えていただいたことを今後の作品作りに生かしていきます。本当にありがとうございました。

【雪も解ける温かさに感謝】

十六日、朝方から降り出した雪がうっすらと積もり、道路は圧雪状態で大変滑りやすくなっていました。送迎でお子さんを送ってきた保護者の方が、家庭に連絡をしてくださり、ご家族が職場の同僚の方と一緒に駆けつけ、手持ちの融雪剤をまいてくださいました。しばらくすると、

校門付近の雪はとけて安全に通れるようになりました。仕事を後回しにして学校のために協力してくださったことに心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

【お願い】



※手をポケットに入れて歩く姿を見かけます。滑って転んだときに手がつかないので危険です。必ず手袋を持たせてください。できれば滑りにくい靴の準備もお願いします。